

# 栃木県 看護連盟 だより



平成25年  
8月20日発行  
第51号

発行者: 栃木県看護連盟

〒320-0838 宇都宮市吉野2-8-15

TEL 028-610-1035

発行責任者: 栃木県看護連盟会長 伊藤正子 印刷所: (株)井上総合印刷



みなさま!  
ありがとうございました!!



## 石田昌宏参議院議員 当選おめでとう!!

ご挨拶

- 伊藤正子/河野順子……………2
- 清水嘉与子/草間朋子/あべ俊子/高階恵美子……3
- 新支部長/OB会実行委員/青年部実行委員長ご挨拶…4
- 石田昌宏氏ホップ・ステップ・ジャンプ・遊説……5
- 平成25年度スローガン/事業計画……………8
- 石田まさひろ参議院議員初登院/永田都賀子さま卒寿記念祝賀会  
今後の活動予定/編集後記……………10

平成25年度7月現在

### 栃木県看護連盟会員数

連盟 7002名  
協会 10464名

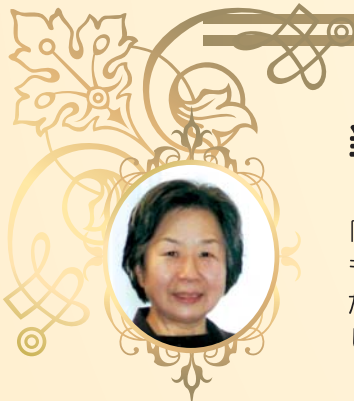
	男性	女性	合計
保健師	14名	169名	183名
助産師	0名	241名	241名
看護師	438名	5772名	6210名
准看護師	25名	343名	368名
合計	477名	6525名	7002名

協会比 66.9% 賛助会員 138名

会費7,000円(本部5,000円,県2,000円) / 年(賛助会員1,000円 / 年)

INDEX

連盟会員募集中



栃木県看護連盟会長  
伊藤 正子

## 当選おめでとうございます

石田さん、当選おめでとうございます。「おめでとうございます」を何十回申し上げても足りないぐらい、私共にとりましては嬉しく、たまらない快挙でした。当選とはなんと素晴らしいことでしょうか。

石田さん、長い間、大変お疲れさまでした。全国2,000ヶ所余を巡り、最後は17日間の遊説、厳しい寒さの中、雪の中、うだるような猛暑の中を石田さんは真っ黒になって走り続けました。

そして、看護問題や4つの重点課題（健康・福祉・教育・雇用）について訴え続け、多くの人たちから共感をいただきました。恩師の故・見藤隆子先生にも最高のご恩返しが出来ました。先生も天国で大変お喜びのこととお察しいたします。

また、清水嘉与子前会長の最後の選挙となりましたが、清水先生の看護に対する燃えるような情熱に圧倒される想いが致しました。特に前回の参議院選では、清水先生のご決断を私共は心から信頼し、固く結束して勝利を得ることが出来ました。長い間のご活躍とご尽力、本当にありがとうございました。厚くお礼申し上げます。

投票率49.96%に対しましては無念さは残りますが、石田さんをご支援して下さいました看護の責任者・役員・支部長・諸先輩・会員の皆様方・関係機関・関係団体の皆様方に心から感謝申し上げます。



有難うございました。私共は次回もこの喜びを味わいたいものです。今後、看護職の代表三人の先生方が、看護協会から出された政策の実現に向けて益々ご尽力下さいますことを期待しております。

みなさま、今日これまでのご支援とご協力、本当に有難うございました。これからもどうぞ宜しくお願い申し上げます。

## 自分の身に結びつく政治

看護連盟のみなさまこんにちは。看護連盟と看護協会が一致団結して7月21日の参議院選挙には、石田昌宏（前看護連盟幹事長）氏を政界に送ろうと熱い戦いを行ってまいりました。

開票間もなく、石田氏の当選の報を目（耳）にして皆様も達成感と満足感で一杯だったことでしょう。

日本看護協会の基本戦略にも「政策形成」としてありますように、制度改革への政策提言や国民の理解と賛同を得る働きかけには、国会において看護職以外の議員の方や国民への強いアプローチをする仕掛け人が必要だと思えます。

そのためには日本看護連盟のなかで政策通とも言われておりました石田氏が、直接その役割を担われることはまさに適材だと考えます。

投票結果は全国的にも栃木県にもいえることですが看護職が自職能を考えて選挙に臨めば、もっともっと高得点が取れるはずでした。その点では、政治への参加がどれだけ自分の身に結びつけられるかを学ばなければならないと感じました。

看護職が抱えている課題を現場から発信して、国会で奮闘されている阿部氏・高階氏に加えて石田氏に期待して参りましょう。



栃木県看護協会会長  
河野 順子





日本看護連盟前会長  
清水 嘉与子

## 新しい節目の年です

石田昌宏参議院議員を誕生させることができました。全国の会員がまさに熱伝導師になってがんばってくださった結果です。本当にありがとうございました。

平成21年の総会で会長になってから、衆議院・参議院各2回の選挙にかかわり、4戦全胜で任を終えることができたことを幸せに思います。この間政権交代下で看護連盟にとっては大きな試練を経験することになり、候補者をはじめ全国の会員に辛い思いをさせてしまったことを本当に申し訳なく思っております。しかしこのたびはそうした状況も解消され、看護界一体となって勝利を収めることができました。こうした環境になって草間朋子会長にバトンタッチをすることができることを喜んでおります。

石田昌宏新議員の初仕事は8月の臨時国会で参議院議長と副議長を選ぶことから始まりますが、秋からが本番です。活躍ぶりを楽しみにしましょう。

栃木県看護連盟の皆様のご支援に心から感謝申し上げます。



日本看護連盟会長  
草間 朋子

## 元気と情熱が持ち味です

この度、日本看護連盟新会長の重責を担うことになりました草間朋子でございます。国会議員としての長年の経験をお持ちの清水会長の後釜としては、力不足であることを自覚しておりますが、会員みなさま一人ひとりの熱い情熱と連盟組織のパワーに支えていただき、「超高齢社会を迎えた日本の『治し支える医療』を支えていくのは看護の力である」を目標に、看護問題の改善と看護界のさらなる発展に向けて全力投球をしております。

看護実践の場や看護学の教育現場の改革は、看護職自らが発案し、自分たちの力で解決に取り組んでいかなければ、誰もやってくれません。とくに、法令遵守の社会において改革を進めていくためには、国会議員の先生方の力が不可欠であることを、特定看護師（さまざまな諸事情により名称独占、業務独占ができないことになりました）の制度化に向けての活動の経験を通して、強く痛感しております。3名の連盟の推薦する国会議員の先生方の活躍に大きな期待を寄せております。

日本看護連盟を、国民の健康を支えるための日本一の強力な組織にしていきたいと思います。公私ともに、「あせらず」「あまえず」「あきらめず」をモットーに70年近い人生を生き抜いてきました。元気と情熱だけは、誰にも負けないつもりでおりますのでよろしく申し上げます。



衆議院議員  
あべ 俊子

## 一人増えた心強さ

栃木県看護連盟の皆様、こんにちは。いつも温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

参院選の結果、石田まさひろさんが201,109人もの皆様からのご支援をいただき、無事国政の場へ送り出していただくことができました。これもひとえに、全国の看護連盟の皆様のご長きにわたる地道で力強い取り組みの賜物であり、栃木県看護連盟の皆様にも多大なるご尽力を賜りましたことに、この場をお借りいたしまして深謝申し上げます。そして参議院での歴史ある看護の議席を再び取り戻せたことにも喜びを深くかみしめております。

今回の選挙の結果、国会におけるねじれを解消することができました。おかげさまで、復興をはじめ日本を取り戻すための政策に邁進していける環境が整った次第です。そしてこれからは一人増え、看護界における諸課題に対しても、たかがい議員、石田議員とともに三人で力を合わせて国政の場で頑張っております。引き続き、栃木県看護連盟の皆様のご温かく心強いお力添えを心よりお願い申し上げます。



参議院議員  
高階 恵美子

## 同志とともに

英国王室には次代を継ぐ王子さまがお生まれになり世界中が喚起しているところ、私たち日本の看護界は、国会にフレッシュな男性議員を誕生させるという大事業を成し遂げました。これからは、成熟社会日本を支える新たな社会保障制度体系の構築に向けて、いのちを護る者が看ている視点を存分に活かした政治活動を、いっそう強力に進めて参ります。

私にとって初めての議員立法となったDV防止改正法（6/26成立）はいま、一部の方々に「奇跡の法律」と呼ばれています。言わば不健康な関係病理による生命危機を公権で回避する特殊法であるため、議員各位の理解を得る過程が極めて険しかったからです。解決策は明らかでも理解されなければ事を成せない。だからこそ、ともに闘える同志が必要です。みなさまのお支えに、心から感謝申し上げます。

# 新 支 部 長 ご 挨拶



鹿沼支部長  
渡邊 千春

私は、上都賀総合病院の患者支援センター（PFM）に師長として勤務しています。管理業務の傍ら今年度ががん相談員を取得し、がん相談業務を行い、また、医療メディエーターも勉強中です。

私の連盟活動歴は約5年を経過し、幹事として前支部長を精いっぱい支えようと、頑張ってきたつもりです。ですが、頑張ったのは気持ちだけで有意義な活動支援ができなかったと思います。そんな私が今年度支部長になり、その役割の大きさと責任の重さを痛感しています。幹事をしていたにも関わらず、わからないことが多い私に、連盟会長様はじめ役員の皆様にご指導いただき、鹿沼支部の皆様のご協力のもと懸命に選挙活動に取り組む事ができました。「何が何でも石田さんを当選させたい」という熱い思いを強く持ち、活動に励みました。結果、石田さん当選、バンザイ！！石田さんが当選された時には、私は精魂尽き果て熱を出して寝込んでしまいました。今後は体力をつけ、さらに連盟活動に励みたいと思います。



塩谷・塩原支部長  
齋藤 満寿子

平成25年度から栃木県看護連盟塩谷・塩原地区の支部長という大役に就任させていただきました。塩谷・塩原支部は、国際医療福祉大学塩谷病院と県医師会塩原温泉病院の2施設で連盟活動をしています。今年度は第23回参議院議員選挙の年であり、支部長としてどういった感じで選挙活動を進めていくのか不安な気持ちでスタートしました。

院内のなかで新人研修や看護部全体会を通して看護連盟の活動内容や看護の代表を国政に送ることで、看護師が働き続けられる環境を得ることができる等の説明を行った。また、施設連絡員との連携を図り、看護全体が政治への関心を持てるように働きかけていくことが重要な役割だと思いました。今回の選挙では、支部長として目標値まで達成することができませんでしたが、今後は栃木県看護連盟の皆様にご指導いただきながら目標達成に向けて微力ながらも、支部長としての役割を果たせるように努めてまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。



菅那支部長  
薄井 ゆかり

平成24年の11月より、菅那支部長に就任させて頂いています。長年看護連盟には入会していましたが、活動の中心は「看護職の代表を政治に送ろう」という事くらいの認識でした。いざ自分が支部の中心になって活動していかなければならないと考えると、本当に私なんか出来るのだろうか、という不安を抱えながら参加しております。

就任してまもなく参議院選挙があり、十分な活動内容ではなかったかもしれませんが、栃木県看護連盟の皆様のご指導のもと、また支部役員の皆様のご支援のもと、頑張ることが出来ました。そして「石田まさひろ」さん当選。今までと違ったうれしさを感じられました。私たちの現場の声を国政に届けてくれることでしょうか。しかし、今回の選挙がゴールではありません。政治の力で私たちの環境を少しでも変えてもらうには、引き続き活動が必要であると思います。支部長としての役割を果たされるよう頑張っていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願い致します。



社保・石橋支部長  
柏 澄子

平成25年7月1日より山口久美子支部長より交替になりました社保・石橋支部長の柏澄子でございます。皆様どうぞよろしくお願い致します。今回支部長を拝命し責任の重さを痛感しております。看護連盟については、以前より関わってまいりましたが、知れば知るほど役割の大きさと必要性を感じております。看護職のおかれていく環境を考えますと、看護職の地位、職場環境、給与面など様々な課題があり、改善・改革するためには多くの代表を国会に送ることが必要です。そのためにも看護連盟の役割は大きいと考えます。

支部長としましては、幹事・連絡員の育成をはじめ、若い看護職員に国会見学や研修会の参加を勧め、常日頃から看護連盟に興味を持ってもらえるような関わりをしていきたいと思ひます。皆様のご指導ご協力のもと日々努力してまいりたいと思ひます。今後とも、どうぞよろしくお願い致します。

## OB会 真に豊かな社会を



OB実行委員  
中島 珠實

石田昌宏さん、参議院議員当選おめでとう！！。何と嬉しいことでしょうか。

私たちOB会メンバー5名は、施設などを退職した看護職の方や、地域の方々に石田昌宏の支援を依頼してきました。その中で、肌で感じたことは老いた時、在宅で過ごすことに不安だということでした。そのような時、石田さんは「小学校があるが如く、その数の訪問看護ステーションを設け、24時間の対応ができるシステムの構築をすることが僕の役割です」と、言っていましたよと説明をして歩きました。

「人の命と暮らしを守ることで、豊かな社会が作られる」と言うモットーを政治活動の中で、具体的な政策決定することに期待しましょう。

看護職一人ひとりが問題意識を持って発言し、現場の声を石田昌宏参議院議員に届け支援していきましょう。

## 青年部 選挙活動をとおして

私は、2013年7月21日20時10分、NHKの選挙速報に「石田昌宏当確」の文字に妻、そしてFacebookで全国の仲間と喜びを分かち合いました。

栃木県看護連盟青年部は、2011年にポリナビ実行委員会の活動から発足し、本年度は各支部に誕生した青年部委員と共に、初の選挙を戦い今回の結果を得ることができました。一方、冷静になり受け止めなければならないと感じています。その理由に、前回の選挙では、野党での出馬で逆風にも関わらず、今回より多くの獲得数できたのはなぜか、今回の男性候補者は女性看護職や看護職以外の有権者には、どのような印象だったのか、ネット上の情報発信は投票行動に結びついたのであるかを分析し、次回の選挙活動に生かしていきたいと考えています。我々青年部委員は、今後も永続的に看護職の代表を国政に送り続けるために、各支部の若手リーダーとして、支部を盛り上げていくことが期待されています。この期待に応えられるよう、青年部委員の存在と活動を連盟会員に周知できるよう、活動を続けていきたいと思ひます。



青年部実行委員長 高木 慎一郎



(平成24年～25年)

# 石田昌宏氏 ホップ ステップ・ジャンプ・遊説



■県医師会塩原温泉病院



■那須脳神経外科病院



■光南病院



■下都賀総合病院



■上都賀総合病院



■那須赤十字病院



■足利赤十字病院



■とちの木病院



■新上三川病院





■御殿山病院



■足尾双愛病院



■日光市民病院



■獨協医科大学日光医療センター



■日光野口病院



■森病院



■今市病院



■会研修会(コンサーレ)



■自治医科大学附属病院





■決起大会



■ポリナビワークショップ(コンセール)



■佐野厚生総合病院



■獨協医科大学病院



■自治医科大学附属病院



■済生会宇都宮病院



■県境にて



■マイク納め



# 平成25年度スローガン

## 「ベッドサイドから政治を変える！」

～看護の代表を、国政に必ず送る～

### 平成25年度事業計画

重点目標

#### 組織活動を充実させる

重点活動

- 1.看護の代表を国政に必ず送る
- 2.確かな政策実現力 看護現場の声を理解する議員を増やし、希望する政策を実現させる力
- 3.強力な集票能力 現役10,000人の看護職に見合った集票力
- 4.多くの人材提供力 選挙をできる人材を多数抱える力

項	目標	県	支部	活動		
I 政治力の強化	確かな政策の実現力	○	○	1)会員への情報提供をより効果的に行う 2)情報収集・情報発信 3)看護現場の課題を社会に伝える 4)看護協会とともに陳情・要望活動を行う 5)看護を支援する国会・地方議員との日常関係を強化する 6)現場の声を書面からホームページに変更し、国会・地方議員に伝える		
				○	○	1)第23回参議院選挙に向け、活動方針の徹底と周知・全会員が必ず投票に行く 2)次期衆議院選挙に向けた体制を整備する 3)関係団体との連携を強化する
						○
	多くの人材提供力	○	○	1)栃木県に看護問題対策議員連盟を発足する 2)看護職地方議員支援体制を強化する 3)県看護連盟の政治力を強化する		
				○	○	1)第4期政治アカデミーに参加する 2)政治アカデミー卒業生を活用する
						○
強力な集票力を持つ	○	○	1)支部活動を中心に会員を増やし、一人ひとりの活動を強化する 2)支部の活動内容を明確にする 3)支部役員・リーダーの人数を充実させる 4)支部役員・リーダーの意識強化を図る 5)OB会の活動・充実をはかる			
			○	○	1)看護管理者トップセミナーへの参加	
					○	○



項	目 標	県	支部	活 動
II 組織の強化・拡大	強力な集票力を持つ			1)若手会員の主体的活動を充実・促進させる 2)積極的に支部の役割に登用する 3)青年部(ポリナビ)活動の充実
	4.若手会員の育成	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	5.看護連盟の理解者を増やす	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1)他団体及び地域住民との連携強化を進める
	6.学生会員の確保と育成	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1)学生会員に看護政策及びその実現の必要性について学ばせる
自立した会員を育成する	1.各選挙に積極的に参加・協力する 2.継続的な研修受講により連盟活動への理解を深める	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1)役員・会員の選挙活動の経験を高める 2)基礎研修の実施 3)続・基礎研修の実施 4)リーダーセミナーの実施 5)新任支部長・施設幹事・リーダー研修の実施 6)新任会長研修の実施 7)看護教育者セミナー・看護管理者セミナーの実施 8)青年部(若手会員)・一般会員・OB会研修の実施
	活発な情報流通	<input type="radio"/>		1)機関誌・Weekly アンフィニ・連盟だよりを発行し、情報を提供する 2)ホームページの活用 3)看護連盟に対する会員の理解を深める 4)政治・選挙に関する会員の理解を深め、行動する会員を育成する 5)看護職議員の活動を周知する
III 組織の適正な運営管理	1.施設・支部・県・本部・協会の一連した組織活動を推進する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1)県・支部相互の意見交換を行う ・総 会 年1回 ・支部長会 年6回以上 ・役員会 年3回以上 ・推薦委員会 年2回以上 ・広報委員会 年4回以上 ・合同会議・合同研修会 年1回 ・青年部実行委員会 年5回以上 ・OB会実行委員会 年3回以上 2)日本看護連盟との意見交換を行う ・本部総会 年1回 ・全国会長会 年3回 ・ブロック別会長会 年1回 ・県・支部別会議 年1回 ・都道府県別会議 年1回 ・全国協会長・連盟会長会議 年1回
	2.事務局の運営を適正に行う	<input type="radio"/>		1)会員を適正に管理する 2)財政を適正に管理する 3)職員を適正に管理する
IV 会員の福祉	1.慶弔への対応	<input type="radio"/>		1)規約に基き対応する
	2.諸問題への対応	<input type="radio"/>		1)専門家と相談の上、速やかに問題解決する



# 石田まさひろ 参議院議員 初登院



7月21日、お陰様をもちまして参議院選挙で当選することができました。

栃木県看護連盟の皆様から頂いた多大なご支援に感謝申し上げます。お一人お一人の熱い想いを今もなお感じ続けています。この想いは、私のこれからの行動への期待であると承知し、改めて責任の大きさを噛みしめているところです。皆様の期待に応えるため、健康医療福祉の現場、暮らしの場での多くの課題を解決すべく、全身全霊をかけて取り組む所存です。

20万以上もの票を頂いたことへの重みを忘れることなく、前進してまいります。心より感謝申し上げますとともに、今後とも見守り続けていただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

参議院議員石田昌宏



# 永田都賀子 日本看護連盟名誉会員 卒寿記念祝賀会

去る7月19日(金)鹿沼市にて、佐藤信市長ご臨席の元に永田都賀子様卒寿記念祝賀会が挙行されました。

市長からお祝いのご挨拶と記念品をいただき大変感激のご様子で、お集まりいただいた皆様にも感謝されておりました。会場からも「まだまだ現役でご活躍していただきたい」との声も聞かれ、和やかな雰囲気の中、祝賀会を終えることができました。永田様の今後、益々のご健勝を心より御祈念いたします。

人の心に咲く花は、  
散ることのない  
愛の花  
永田都賀子



## 今後の活動予定

みんなで参加しよう!

9月20日(金)  
全国会長・幹事長  
支部長合同会議  
東京プリンスホテル

10月9日(水)  
国会見学

10月25日(金)  
県別会議  
新任リーダー研修会  
宇都宮東武ホテルグランテ

11月18日(月)  
青年部研修会  
コンセーレ  
アイリスホール

## 編集後記

本年の参議院選挙で、遂に看護界待望の男性議員石田昌宏氏が誕生しました。昨年より石田氏は日本各地を回り看護と行政の連携とその重要性を訴えてきました。大変な努力をされましたが、本番の大舞台はこれからです。ご活躍を期待します。

私たち看護連盟と看護協会もさらに力を結集して強力な組織を作り、次回選挙に向けて投票率アップに努めましょう。

(直井記)